

## 第 233 回 昭和の森自然観察会

### 自然観察ウォークラリー ～自然と遊ぼう～

岡田富子（千葉市）

日 時：2011年5月8日（日）13時～15時 天気：晴れ

参加者：26名（大人20名 子ども6名）指導員：23名

担当指導員：岡田富子 佐藤一枝 佐野由輝

自然と遊ぼう…天候にも恵まれ、さあ出発！

ウォークラリーと名がついていましたがあまり細かく時間を決めず 15 時迄には到着するように楽しんで歩くことにしました。今回はタンポポ、オタマジャクシ、スギナ、県木、チョウ、オオバコ相撲、アリ、の7ポイントを用意しました。ポイントを通過した印に、折り紙で折った兜をはった台紙にシールを貼り付けていきました。

今回初めてのケースでしたが、小学生の佐野幹人君にタンポポのガイドをお願いしました。市町村の森近くの東屋で名前の由来など写真を使ってクイズを出題！当たった人もそうでなかった人も、みんな楽しそうに解説を聞いていました。幹人君に感想を聞いてみると、「最初は緊張したけど、上手に出来ました。」とのこと。調整池では大きなウシガエルのオタマジャクシにびっくり、ヒキガエルのオタマジャクシが真っ黒にかたまっている所をみてまたまたびっくり！オタマジャクシには歯があるなんて知りませんでした。「スギナ」のポイントでは、つくしとスギナの標本を見て、その秘密にふれたような気がしました。スギナは地上茎の緑色の部分で栄養を作りだし、次の世代の準備をしていたなんて！以上の3か所では指導員の方々にお願いして、ポイントに立ち説明をして頂きました。歩きながらチョウを見つけたり、千葉県の木はどれか探したり、オオバコ相撲は軍配をつくり、ちょっと雰囲気を出しました。アリのポイントではクロヤマアリの巣を作り展示。又東屋付近の巣の前でアリの生態の話をし、偶然羽を付けたアリの発見！結婚飛行の準備でしょうか？雄アリは交尾後すべて死んでしまう！そういう役目なのですね。

今回のポイントはどれも割と身近なもの、見たことが無い人はいないと思いますが、案外知らないことがいっぱいでした。無事すべてのポイントを通過し到着後、参加者の方々に一言ずつ感想を伺ったところ「楽しかった」、「また参加したい」と言って頂き本当にほっとしました。先輩に後押しして頂き、初めて一から準備に携わり担当指導員として参加することができました。今迄何げなく参加していましたが皆さん大変な勉強をし、工夫していたことに改めて頭が下がる思いでした。

私自身知らないことが随分あり、図書館で子どもの本を借り、分かりやすく解説してある内容になるほどと、勉強になりました。分からない所は中央博物館に出向いて研究員の方に色々教えて頂きました。又ツクシの袴の電子顕微鏡写真を浅間茂さんが提供して下さいました。今回の貴重な経験で沢山の収穫を得ることが出来、皆様に大変感謝いたします。本当に有難うございました。



タンポポの説明をする佐野幹人君 説明を聞く参加者の皆さん



ウシガエルのオタマジャクシ